

Grade	J1	Course	IC (Immersion)
Subject Category	English	Subject Name	English
lesson/wk	8		

◆Learning Objectives

3	Appropriately uses vocabulary / grammar learned in the course of study in sentences and contexts.	Effectively selects and organizes various reading / listening sources to support opinions.	Selects and organizes information and expresses effectively and creatively in our words during discussions and debates.
2	Understands the categories and functions of each vocabulary / grammar learned in the course of study.	Selects and organizes the information gathered from various reading / listening sources.	Selects and organizes information and exchanges opinions in speaking / writing using appropriate phrases.
1	Understands the meanings and spellings of vocabulary / grammar learned in the course of study.	Grasps the content from reading / listening sources using the knowledge and skills gained.	Expresses in speaking / writing by referring to the example phrases.
	Knowledge · Skills	Application · Practice	Critical Thinking /Creation

◆Focused Competencies

Communication	Intercultural Understanding
---------------	-----------------------------

◆ Textbooks/material

Textbook / Workbook	Publisher
Longman Academic Writing Series 1 Contemporary Topics Introductory Essential Grammar in Use 英語を英語で理解する 英英英単語 初級編 DMM	Pearson Pearson Longman Cambridge University Press ジャパントイムズ出版 Online Service

Oxford Reading Club ELSA Speak	Oxford University Press ELSA
-----------------------------------	---------------------------------

◆Evaluation/Assessment Method

Element
Assessment Tests
Performances, Projects, Reflection
Participants (E-note, Vocab Tests, Unit Tests)

◆Yearly Schedule

Term	Main Topics (Units)
1	<u>C=Communication Skills W=Academic Writing R=Intensive Reading</u> C: Introduction to Immersion Unit 1: Psychology “Happiness”, Unit 2: Linguistics “A Time to Learn” W: Introducing Yourself(Cp1), Everyday Routines(Cp2), Every Picture tells a story(Cp3),On the Job(Cp6) (-ing & supporting sentences) R: Survival English, Guidelines for language acquisition, Reading task
2	C: Unit 3: Public Health : Sleep, Unit 6: Engineering: Robots W: Remembering an Important Event(Cp7), A Good Day(Cp4), Your Hometown(Cp5), TOEFL Jr. Writing Practice R: Hercules, Subject Immersion Readings, TOEFL Jr. Reading Practice
3	C: Unit 5: Art History: Modern Art, Unit 7: Media Studies: Interactive Games W: Memories of a Trip(Cp8), Looking Ahead(Cp9) R: Reading Academic Articles, Hercules, Caring for our planet, Subject Immersion Readings

Main Activities

C: Listening strategy demonstration, Public speaking, Phonics, Note-taking,Projects W: Writing strategy demonstration, Letter/email writing, Paragraph writing R: Reading strategy demonstration, Vocabulary Drills, Recitation, Morning extensive reading
---

学年	中学1年	コース	IC
教科	国語	科目名	国語
授業数	4時間/週		

◆ 学習目標

3	テキスト読解について他者の意見も取り入れ、多角的な読みができています。	テキスト読解における議論から、他者の意見を踏まえテーマを深化させることができます。	テキストから抽出した本質的なテーマを応用し、創造的な活動に昇華できる。
2	テキストの背景を自身で調べ踏まえて、読解ができています。	テキスト読解について議論を組み立てることができる。	テキストから抽象化したテーマを用い、批評や創作物を生み出すことができます。
1	テキストに書かれている指示語や、段落ごとのつながりを理解できる。	テキストを自分なりに解釈し、それを指し示し、議論の参加者になっている。	テキストの読解と他者との議論を通じて生まれた新たな論点を抽象化し言語化できる。
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆ 重視したいコンピテンシー

共創	コミュニケーション	創造性
----	-----------	-----

◆ 教材

書名	出版社
伝え合う言葉 中学国語 I	教育出版
必要あるものは適宜印刷して使用。	

◆ 評価材料

項目
定期試験
授業内活動(主にプロジェクト活動)
提出物(休み明け課題を含む)

◆ 授業スケジュール

学期	主なトピック(単元)
1	◎唯一解を追わない多角的な読み方を学ぶ。 芥川龍之介「蜘蛛の糸」 宮沢賢治「オツベルと象」 スパイダー討論・授業内小論文を通し、思考を深化する。
2	◎私たちの無意識や、与えられる情報を疑ってみる。 橋本之克「行動経済学BEST100」 森達也「たったひとつの『真実』なんてない」 テーマを踏まえた創作(動画やポスター作成)を行う。 スパイダー討論・授業内小論文は継続して実施する。
3	◎複雑な構造の物語を読み解く。オリジナルの物語で描かれていなかった視点で物語を再構築し、小説として創作する。 ヘルマンヘッセ「少年の日の思い出」 スパイダー討論・授業内小論文は継続して実施する。

主な活動

受験で身につけた「問題の唯一解を最短で見抜く」というスタンスを一度脱ぎ去り、クラスメートの数だけ答えがある楽しさや、メンバーと協業して自分だけでは辿り着けなかった考え方や成果物と出会う喜びを感じられる活動を目指します。スパイダー討論や授業内小論文を通して他者や自分自身と対話し、思考を深化する体験を積んでいきます。

Grade	中学1年	Course	IC (Immersion)
Subject Category	数学	Subject Name	数学
Lesson/wk	4		

◆学習目標

3	目的に応じた数学的な表現、処理をすることができる。	自分の考えを、数式や文章などの表記を活用して正しく簡潔に表現することができる。	・自分の考えを他者に論理的に伝え、表現できる。 ・他者の考えを聞き、分析、評価することができる。
2	文章を、式やグラフ、図形などで表現することができる。	・状況に応じた推論の方法を正しく選択し、結論に至った経緯を論理的に説明できる。 ・融合問題、思考力問題への探求 ・複数の解法を考える	具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を一般化することができる。
1	・基本的な計算法則を身に着ける。 ・定義、定理、公式にあてはめて解を導くことができる。	・その問題に即した定理、公式を利用することができる。 ・証明技法を身に着ける。	具体的な事象に潜む数学的な関係や法則を発見する。
	Knowledge・Skills	Application・Practice	Critical Thinking /Creation

◆重視したいコンピテンシー

探求心	問題解決能力	共創
-----	--------	----

◆教材

Textbook / Workbook	publisher
未来へ広がる数学1	啓林館
Gateway to the future Math1	啓林館
新中学問題集中学1年 日本語	教育開発出版
新中学問題集中学1年 英語	教育開発出版
自作プリント	

◆評価材料

element
定期考査
確認テスト
成果物
課題点(提出物など)

◆授業スケジュール

Term	Main Topics (Units)
1	・正の数と負の数 ・式の計算 ・方程式
2	・平面図形 ・空間図形 ・図形と合同 ・三角形と四角形
3	・1次関数

Main Activities

課題研究(グループ学習), 復習テスト, 計算テスト等

学年	中学1年	コース	IC (Immersion)
教科	理科	科目名	理科
授業数	4		

◆ 学習目標

3	単元の全体像を把握し、概念を整理し理解できる。	基本的な知識や概念を活用し、社会課題や学術的な課題について論理的に説明することができる。	学習した内容を基に創造的な発想をすることができる。
2	基本的な概念を説明することができる。基本的な実験を行うことができる。	基本的な知識や概念と日常生活や社会とを関連付けて説明することができる。	学習した内容に対して疑問をもち、根拠をもとに自分の考えを展開することができる。
1	基本的な用語や概念を知っている。基本的な実験操作ができる。	基本的な知識や概念を活用して論理的に説明することができる。	学習する内容に対して疑問をもち、表現することができる。
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆ 重視したいコンピテンシー

探究心	コミュニケーション
-----	-----------

◆ 教材

書名	出版社
中学の化学・中学の生物・中学の物理・中学の地学	教育開発出版

◆ 評価材料

項目
問題集・ワークシート
アセスメント・定期試験
成果物

◆ 授業スケジュール

学期	主なトピック(単元)
1	基本的な実験操作 身近な生物の観察 植物のつくりとはたらき 植 物の分類・動物の分類
2	物質のつくり ものの溶け方と水溶液 力のはたらき 光・音の性質
3	火山・地層 地震 自然の恵みと災害

主な活動
調べ学習、プレゼンテーション、実験、問いづくり、振り返り

学年	中学1年	コース	IC (Immersion)
教科	社会	科目名	地理
授業数	3		

◆学習目標

3	①単元の内容を要約できる ②単元の内容を要約したことを説明できる	①2つ以上の地域の共通点・相違点をふまえ、地域の特徴を説明できる ②現状をふまえ、その世界や日本の諸課題の地理的因果関係を説明できる。	①C2の①の仮説を検証する ②C2の②の仮説を検証する ③未来に起こりえる問題を解決するための仮説を立てることができる。
2	①重要な地理用語の説明ができる。②世界の諸地域の流れを理解できる ③単元内容を理解できる	〈B①をふまえ…〉 ①2つ以上の地域との共通点・相違点を説明できる ②地理的因果関係を説明できる。 ③世界と日本の諸課題の解決方法の現状を説明できる。	①C1の①の問いに対する仮説を立てることができる ②現代の課題を解決するための仮説を立てることができる ③現在の課題をふまえ、未来に起こり得る問いを立てることができる。
1	①問いに対し、地理用語を的確に使用することができる。	①資料の内容を読み取り、内容や特徴を説明できる。 ②地域の特徴に気づける。 ③異なる2つ以上の地理的事象の関連性に気づける。	①単元を通して、新たな問いを立てることができる。 地理的事象(世界と日本の諸地域)の様々な因果関係をふまえ、異なる地域との関連性に気づくことができる。
	知識・技能	応用・実践	批判・創造

◆重視したいコンピテンシー

コミュニケーション	問題解決能力
-----------	--------

◆教材

書名	出版社
中学生の地理、中学校社会科地図 グラフィックワイド地理Ⅰ・Ⅱ	『帝国書院』 『とうほう』

◆評価材料

項目
期末試験
成果物評価
単元の評価課題

◆授業スケジュール

学期	主なピック(単元)
1	世界地図から見えるもの 地球の形と世界の時間 地球の表現方法とその特徴 様々な視点から見る東京都から理解する日本の特色 新旧地形図から世田谷区をしてみよう
2	世界の人々の生活と気候とのつながり 各気候帯の特徴と人々の生活 宗教と人々の生活 世界の諸地域(北アメリカ・南アメリカ・ヨーロッパ・アフリカ・アジア・オセアニア)
3	様々なスケールから考える災害リスク 世田谷区の災害リスクについて考える 日本の諸地域(北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州) 日本の地域区分

主な活動

問題解決型学習と講義形式を並行して相互通行型授業を行う。  
問いをもとに地理的事象について考察する。